

第1次開催要綱

集まる 深める 広げる
 みんなで 紡ぐ 学びの場

第16回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 北海道

兼 北海道高教組 第2回学校職場づくり学習会
 (9日 教育フォーラム 高等学校における特別なニーズをもつ子どもたちの教育)

日 程：1月7日(土)

～ 9日(月)



参加費：3,000円(1日のみ参加は2,000円、
 フォーラムのみ参加1,000円)

会 場：かでの2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)

アクセス：市営地下鉄「さっぽろ」大通駅間の公共地下歩道1番出口より徒歩4分

JR「札幌」駅南口より徒歩13分・市営地下鉄「さっぽろ」駅10番出口徒歩9分

7 日 (土)			13:00- 受付	14:00- 15:00	15:00- 17:00	18:30-
	会 場		かでの2・7		開会全体会	記念対談 山田隆司氏 戸田竜也氏
8 日 (日)	9:30-11:30	屋 食 休 憩	12:30-17:00		18:30-	
	<ul style="list-style-type: none"> てんこ盛り講座 文化バザール 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎講座 旬の実践分科会(12の分科会) 		交流会(各県ブ ック・青年・障害 児学級ごと)	
かでの2・7				高校センター 労働センター		
9 日 (月)	9:30-12:00					
	教育フォーラム (兼 北海道高教組 第2回学校職場づくり学習会)					
かでの2.7						

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会
 【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

全体会(1/7) 14:00~17:00

- ◇ オープニング
- ◇ 実行委員長あいさつ
- ◇ 現地企画
- ◇ 現地あいさつ
- ◇ 基調報告

◇記念講演 15:00~16:50

『学校は力を合わせてつくるもの ~子どもから学ぶこととは?~』

対談：山田 隆司氏 (元雨竜高等養護学校)

戸田 竜也氏 (北海道教育大学釧路校)

全体交流会(1/7)18:30~

会場：京王プラザホテル

札幌市中央区北5条西7丁目 2-1

TEL：011-271-0111

※かでの 2・7 より北へ2ブロック先

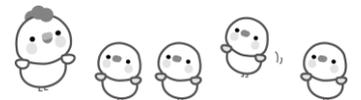
参加費 6,000 円



てんこ盛り講座(1/8) 9:30~11:30

講座名	講師
わくわくどきどき楽しい国語	平川 美和 さん (北海道)
わくわくどきどき楽しい算数	櫻庭 喜美雄さん (北海道)
わくわくどきどき楽しい美術	数土 浩行 さん (北海道)
障害の重い子の発達を学ぶ	竹脇 真悟 さん (埼玉)
医療と教育	市橋 博子 さん (北海道)
キャリア教育を考える	未定 (滋賀)
障害児教育の豊かな条件づくり (定数・設置基準を学ぶ)	土方 功 さん (全教障教部)
障害児学級での授業づくり・学級づくり	全教障教部事務局
集まれ臨時教職員	加川 達仁 さん (北海道)

文化バザール(1/8) 9:30~11:30



講座名	講師
ウクレレ講座 (会場；高校センター)	桑原 岳夫 さん (北海道)
カラーセラピー	木村 幸恵 さん (北海道)
教材あれこれ	小笠原 智 さん (北海道)
アイヌ文化講座	大脇 徳芳 さん (少数民族懇談会)
自分たちの歌づくり (会場；エルプラザ)	金谷 しほりさん (北海道)
歩くスキー・スノーシュー体験 (会場；中島公園)	能條 歩 さん (北海道教育大学)

基礎講座(1/8) 12:30~17:00

講座名	講師
「発達」っておもしろい	三木 裕和 さん(鳥取大)
えがこう!豊かなインクルーシブ教育の未来 ~発達保障の視点を大事に~	荒川 智 さん(茨城大学)

旬の実践分科会(1/8) 12:30~17:00

旬の実践分科会	共同研究者
1,障害児学級での教育実践	越野 和之 さん(奈良教育大)
<<Re>>山本 仁史(北海道)「北みの国から ~さくら学級の2年間~」 今村 祥子(東京)「自然や社会事象に興味関心がもてる子どもに育てたい!」 長迫 稔(広島)「中学生のプライドに応える授業づくり」	
2,通常学級・通級指導教室での教育実践	戸田 竜也 さん(北海道教育大)
<<Re>>宮澤 靖彦(北海道)「通級指導教室ができることはなにか」 山下 洋児(東京)「東京の通級指導の実践と特別支援教室の課題」 田川三枝子(滋賀)「通級指導教室に通う子どもたちを見つめて」	
3,発達障害児の教育実践(小・中・高)	二通 諭 さん(札幌学院大)
<<Re>>※北海道で検討中 村田 豊(神奈川)「就労と向き合えないA君の願いと指導アプローチ」 熊本 勝重(大阪)「友だちと仲良くなりたいコオ君」	
4,視覚障害児の教育実践	川野 史恵 さん(岡山)
<<Re>>木下 学(北海道)「小学部・中学部の算数・数学の授業を通して」 寺田健太郎(埼玉)「ホームドアをつけてくださいー小学部での主権者を育てる取り組みー」 宗像 真弓(東京)「一人一人が輝く生活を目指して~文京の新たな取り組み~」	
5,聴覚障害児の教育実践	竹澤 清 さん(日本福祉大)
<<Re>>※北海道で検討中 塚本 明美(茨城)「音を感じて、ことばにつなげる」 柿沼 孝仁(神奈川)「横浜ろう学校の交流教育について」	
6,病弱の子どもたちの教育実践	佐藤 満 さん(札幌学院大)
<<Re>>武藤 素子(北海道)「生徒と心通わせながら ~K先生奮闘記~」 南 (愛知)「仲間とともに自分さがし~自分の可能性を仲間と見つめる自立活動の取組~」 吉松 薫(大阪)「病弱部での4年間を振り返って」	
7, 発達の遅れと授業づくり教育課程づくり ア、最重度と言われる子どもたち	河合 隆平 さん(金沢大)
<<Re>>柴山美沙子(北海道)「医療型障害児入所施設での訪問教育の現状~集団学習と個別学習のあり方を考えて」 堀 亨(宮城)「笑顔とはてなを大切に~施設訪問での実践から~」 原田 文孝(兵庫)「訪問教育での『せいかつ』の授業をつくる」	
8, 発達の遅れと授業づくり教育課程づくり イ、ことば獲得期~教科入門の子どもたち~	櫻井 宏明 さん(埼玉)
<<Re>>奥野 愛(北海道)「なないろの軌跡 ~自己表現の力をはぐくむ~」 大平さやか(北九州)「脳性マヒ児のコミュニケーション指導を通して ~T君の想いを伝えていきたい~」 高橋 善洋(滋賀)「I子さんにとっての学校」	
9, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり・教育課程づくり	小淵 隆司 さん(北海道教育大)
<<Re>>渡部佳穂里(北海道)「自閉症T君の願い ~発達の要求によりそいながら~」 渡辺 まみ(東京)「響きあう世界をもとめて」 山下 紋奈(愛媛)「ぼくのきもち」	

10,青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	白石 恵理子さん(滋賀大)
《Re》山田 勇氣(北海道)「演劇で学校が、教育が変わる」 森竹 美文(静岡)「人と関わる力を高めるために」 中尾久美子(和歌山)「エレベーター、のりたーい ～Rくんの育ちを支えるもの～」	
11,性教育の実践	伊藤 修毅 さん(日本福祉大)
《Re》三田村祐二(北海道)「よりよい生き方を考えること ～『性』『生』に関する指導と学校づくり・地域づくりの課題～」 船張 真喜(静岡)「子どもに寄り添う・・・について考える」 立川 都(東京)「子どもたちと素敵な時間を過ごしたくて～悩んで取り組んできた“こころとからだ”勉強」	
12,子どもの生活を考える	小野川文子 さん(名寄大)
《Re》松井 由紀(北海道)「自己有用感を育む生活づくり」 小村修・浅井勇貴(滋賀)「自分らしい生活をつくりだすために～不安いっぱいKくんに寄り添って～」 篠原伊都子(香川)「導尿の確立を目指して、学校と寄宿舎との連携」	

各県・ブロック別交流会

各所ブロック別に計画中

青年交流会

障害児学級交流会

詳細は後日お知らせします

教育フォーラム(1/9) 9:30~12:00

	フォーラム名	主な対象	コーディネーター・講師
1	高等学校における特別なニーズをもつ子どもたちの教育	高等学校教職員等	白石 恵理子さん
2	とっておきの授業づくり・学校づくり	すてきな実践を聞きたい方	
3	子ども理解にもとづく教育目標、教育評価	障害児学級・学校教職員	三木 裕和 さん

参加のお申し込みについて

1、参加の申し込み方法について

※ 3日目の教育フォーラム1は、「高教組第2回学校職場づくり学習会」との共催です。

※ 高教組本部にFAXかメール(kokyoso@dokokyoso.jp)お申し込みください。

2、参加費について

■ 集会参加費 全日程(3,000円) 7日もしくは8日のみ(2,000円)
教育フォーラムのみ(1,000円) 学生・保護者(500円)

■ 交流会費(7日) 6,000円

■ 今回の集会はお弁当の販売はありません。会場周辺で各自お願いします。

3、交流会(7日)について

※ 手配の関係がありますので、最終のお申し込みは12月19日(月)までにご報告ください。

※ 12月26日(月)以降のキャンセルはできません。申し訳ありませんが、全額をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

4、申し込み(報告)の締切について

※ 12月19日(月)【参加者名簿を作成しますので、可能な限りここまでにご報告ください】

※ ただし、集会への参加(交流会以外)は当日まで受付いたします。

5、参加費のお支払い

※ 集会当日、受付にて個人ごとにお支払いください。

6、問い合わせ(高教組本部 菱木)

■ TEL (011) 231-0816 / FAX (011) 241-8510 / メール kokyoso@dokokyoso.jp